

平成 25 年度  
事業報告書

自 平成 25 年 4 月 1 日  
至 平成 26 年 3 月 31 日

地方独立行政法人府中市病院機構

## 目 次

### 府中市病院機構の概要

#### 1 現況

- (1) 法人名 . . . . . 1
- (2) 法人の所在地 . . . . . 1
- (3) 法人役員 . . . . . 1
- (4) 設置・運営する病院 . . . . . 1
- (5) 職員数 . . . . . 2

#### 2 府中市病院機構の基本的な目標 . . . . . 2

### 全体的な状況

#### 1 法人としての総括と課題 . . . . . 2

#### 2 大項目ごとの特記事項 . . . . . 3

- (1) 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に  
関する目標を達成するためとるべき措置 . . . . . 3
- (2) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するため  
とるべき措置 . . . . . 3
- (3) 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置 . . . . . 4
- (4) その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置 . . . . . 4

### 項目別の状況

#### 第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に

- 関する目標を達成するためとるべき措置 . . . . . 4

#### 1 提供する医療の内容 . . . . . 4

- (1) 高齢化に対応した医療 . . . . . 4
- (2) 予防医療 . . . . . 4
- (3) 救急医療への対応 . . . . . 5
- (4) 災害医療への協力 . . . . . 5

#### 2 診療機能の確保 . . . . . 6

- (1) 診療科目の整備 . . . . . 6
- (2) 小児救急医療及び分娩の再開 . . . . . 6

#### 3 地域医療連携の推進 . . . . . 6

- (1) 地域医療連携室の充実と「在宅支援システム」の試行 . . . . . 6

#### 4 医師及び医療従事者の確保 . . . . . 7

- (1) 臨床研修体制の充実 . . . . . 7

(2) 看護系大学などとの連携	7
5 地域住民とともに守る病院づくり	7
(1) 患者の利便性と院内環境の快適性の向上	7
(2) 医療安全対策の徹底	7
(3) 市民への積極的な情報提供	8
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	8
1 組織・機構の整備	8
2 職員教育体制の充実	8
3 事務職員の育成	9
4 働きやすい職場環境の整備	9
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	9
1 経営基盤の強化	9
2 収益の確保及び費用の節減	10
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	10
1 病院の建て替えへの対応	10
2 医療機器などの更新	11
第5 予算、収支計画及び資金計画（平成25年度）	11
第6 短期借入金の限度額	14
第7 剰余金の使途	14

## 地方独立行政法人府中市病院機構事業報告書

### 府中市病院機構の概要

#### 1 現況

##### (1) 法人名

地方独立行政法人府中市病院機構

##### (2) 法人の所在地

広島県府中市鶴飼町 555 番地 3

##### (3) 法人役員

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

役職	名 前	備 考
理事長	多田 敦彦	府中市民病院 院長
理事	横矢 仁	府中北市民病院 院長
理事	北村 智樹	府中市民病院 副院長
理事	近森 正和	府中市民病院 副院長
理事	長谷川 和子	府中市民病院 総看護師長
理事	寺岡 謙	社会医療法人社団陽正会事業本部長
監事	浅田 勝彦	公認会計士・税理士
監事	岸田 光弘	弁護士

##### (4) 設置・運営する病院

病 院 名	府中市民病院	府中北市民病院
主な役割・機能	<u>二次救急輪番制病院</u> ○ 日本静脈経腸栄養学会認定 NST 稼働施設 ○ 日本呼吸器学会関連施設 ○ 日本透析医学会教育関連施設 ○ 日本アレルギー学会準教育施設 <u>訪問看護ステーションあゆみ</u>	<u>救急告示病院</u> ○ 広島大学病院協力型臨床研修病院 ○ 日本消化器病学会関連施設 ○ 日本整形外科学会専門医研修施設

所在地	府中市鶉飼町 555 番地 3	府中市上下町上下 2101 番地
設立	平成 24 年 4 月 1 日	平成 24 年 4 月 1 日
病床数	150 床 (一般 100 床・療養 50 床)	70 床 (一般 35 床・療養 35 床)
診療科目	内科・外科・整形外科・産婦人科・耳鼻咽喉科・小児科・泌尿器科・眼科・精神科	内科・外科・整形外科・産婦人科・小児科・耳鼻咽喉科・皮膚科・泌尿器科・リハビリテーション科

#### (5) 職員数

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

内訳	常勤職員	臨時職員	合計
府中市民病院	169 人	50 人	219 人
府中北市民病院	74 人	42 人	116 人
法人合計	243 人	92 人	335 人

※職員数は非常勤医師数を除く

## 2 府中市病院機構の基本的な目標

法人は、府中市の地域医療を守り育てる基本条例の理念である、市民の健康と生命を守るかけがえのない地域医療を、将来にわたって持続的に確保することを基本に置き、府中市地域医療再生計画の具体化にむけて、その推進役を果たします。

法人が目指す医療は、市民が安心して暮らすための健康を維持し、市民の生活の質を高めるための「支える医療」です。そのため、保健・医療・福祉の連携ネットワークづくりや、医療と介護の日常的な連携体制の構築を図ります。

### 全体的な状況

#### 1 法人としての総括と課題

中期目標の 2 年目となる今年度、2 病院の医療機能を維持することは出来ましたが、府中市の繰り入れに依存する法人の財務状況を改善することはできず、大幅な赤字決算となりました。

府中北市民病院では前年度末に内科常勤医師が退職し、後任の常勤医師の招聘が困難な状況にありましたが、広島大学病院、三次中央病院、庄原赤十字病院から医師派遣の支援を得ることで、診療体制を維持することができました。府中北市民病院の将来像については、法人内部で新改革プランの作成に取り組みましたが、具体的な実施には至りませんでした。

収支目標の経常収支比率（経常収益/経常費用）100%以上を達成できず、法人全体では97.1%の赤字決算になりました。収益面の目標に対する達成率では、府中市民病院が外来105.1%、入院104.1%、府中北市民病院が外来96.7%、入院103.4%と、ほぼ目標を達成しました。しかし、費用面では府中市からの繰り入れを除くと、法人全体では給与費比率（給与費/医業収益）は73.1%（前年度比0.4%減）、医業収益比率は84.6%（前年度比2.2%減）、経費比率（経費/医業収益）は21.5%（前年度比2.3%増）で、特に府中市民病院の老朽施設・医療機器の修繕や、J A広島厚生連出向職員から法人職員へ移行するための人員確保に要する費用が増加しました。

職員体制については、府中市民病院は法人職員・J A広島厚生連出向職員・府中市派遣職員で、府中北市民病院は府中市職員から法人への移行職員と府中市派遣職員で構成しています。法人スタート時のJ A広島厚生連出向職員数は93人（H24.4.1）でしたが、平成25年度は28人（H25.4.1）となり、平成26年度は11人（H26.4.1）になりました。平成26年度は、J A広島厚生連からの人材支援期間の最終年度であり、引き続き、法人の職員体制の確立を図る必要があります。

## 2 大項目ごとの特記事項

### (1) 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

診療機能については、府中北市民病院において、府中市民病院の院長による呼吸器専門外来を、また、府中市民病院には、府中北市民病院から内科の常勤医師が診療応援に来るなど、医師の連携を継続しています。

府中市民病院は、二次救急輪番制病院として外科の緊急手術に対応する職員体制を、府中北市民病院は、救急告示病院としての職員体制を維持しています。

府中市民病院では、放射線科医師の負担軽減のため、岡山県実施の遠隔画像診断ネットワーク事業に参加し、岡山大学病院放射線科との遠隔画像診断システムを導入しました。（H25.4.1～）

### (2) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

毎月の幹部会議において、病院の収支状況を共有することで、職員の経営参加意識と、自主的な経営改善を促す組織風土の醸成に努めています。

府中市民病院では、年間を通して各職場における改善の取組みを発表する「元気が出る KAIZEN 発表会」を、今年度も開催しました。

(3) 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

今年度は、府中市から経営安定化ため 4 億 4,000 万円の繰入金がありましたが、赤字決算となったため、中期目標の達成にむけて法人独自の経営改革を早急に実施する必要があります。

府中北市民病院における新改革プランの具体的な実施や、府中市民病院における新病院建築に合わせた病院改革の取組が必要です。

(4) その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

今年度、府中市民病院の建て替えにかかる設計業務は完了し、平成 26 年度からは建築工事に着手します。

## 項目別の状況

### 第 1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

#### 1 提供する医療の内容

##### (1) 高齢化に対応した医療

【法人】府中地区医師会が実施した「在宅医療推進拠点整備事業」に参加し、地域住民の高齢化に対応した在宅医療推進のための一歩を踏み出しました。

【府中】訪問看護ステーションあゆみは、「在宅医療推進拠点整備事業」のサブセンターとして位置づけ、新たな事業に参加しました。

【府中北】地域医療連携室に経験豊富な職員を採用し、地域連携機能の充実を図りました。

機能改革の一つとして、府中市が公募した介護事業に申請し、予定事業者の決定を得ました。H26.8 月に、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業「ささえ」を開設します。

##### (2) 予防医療

【法人】市民病院として人間ドック・特定健診・がん検診を実施しました。

また、市の保健課の要請により国保の特定健診・がん検診を追加で受けるなど、積極的に取り組みました。

	健診種別	前年度（人）	25年度（人）
府中市民病院	人間ドック	207	309
	協会健保等	133	500
	特定健診	127	156
	がん検診	969	964
府中北市民病院	人間ドック	89	85
	特定健診	200	201
	がん検診	574	505

【府中】放射線科に女性の技師を採用し、マンモグラフィー検診を受検する女性への配慮を行いました。

### (3) 救急医療への対応

【法人】府中市民病院は二次救急輪番制病院として、府中北市民病院は救急告示病院として、府中地区の急性期患者の受け入れを行いました。

府中地区医師会の休日当番医制では、府中市民病院は、診療所と協力し府中地域の当番医減少を補完、府中北市民病院は、年間を通じて上下地域の当番医を担当しました。

		前年度（人）	25年度（人）
府中市民病院	救急搬送患者数	311	269
	時間外患者数	4,439	4,310
	入院患者数	511	515
府中北市民病院	救急搬送患者数	175	166
	時間外患者数	1,097	926
	入院患者数	141	176

また、外科の24時間365日の緊急手術に対応する職員体制を継続しています。

緊急手術は、今年度41件（前年度28件）行いました。また、法人2病院の連携による府中北市民病院からの紹介患者の外科手術は、今年度23件（昨年度17件）になりました。

### (4) 災害医療への協力

【法人】今年度は、行政からの要請はありませんでした。



【府中】今年度は、市から防災訓練等の要請はありませんでした。

病院独自の取組として、今年度初めて府中市民病院 I C L S コース研修会（患者救命率向上のための実技研修）を開催し、12名の看護師が参加しました。

【府中北】市の要請により、上下花火大会の救護班として活動しました。

## 2 診療機能の確保

### (1) 診療科目の整備

【法人】今年度は、府中市民病院と寺岡記念病院の理事長・院長・副院長・事務長による会合は開催されませんでした。多田理事長が府中地区医師会の理事として、地域の医師との情報共有を図っており、今後も府中地域の医療提供体制について協議します。

【府中】H26.4月から月2回（第2.4金曜日）、福山市民病院から循環器内科の診療支援を受けることが決定しました。

【府中北】H26年度から北部地域移動診療車運行協議会に参加し、受診困難地域への移動診療を実施するため、関係者との協議を行いました。

### (2) 小児救急医療及び分娩の再開

【法人】法人運営の2病院とも、地域に必要な産婦人科として、婦人科全般の診断と治療、子宮がん検診を行なっています。

現状では、分娩の再開は条件整備のハードルが高く、広域的な連携体制の中で、妊娠32週までの妊婦検診に対応します。

		前年度	25年度
府中市民病院	外来患者数（人）	2,597	2,371
	子宮がん検診（件）	431	288
府中北市民病院	外来患者数（人）	603	564
	子宮がん検診（件）	64	85

## 3 地域医療連携の推進

### (1) 地域医療連携室の充実と「在宅支援システム」の試行

【法人】府中地区医師会の「在宅医療推進拠点整備事業」に参加し、5つのサブセンターのうちの一つを、府中市民病院の訪問看護ステーションが担いました。

【府中】 【府中北】医療機関・施設の職員による地域ケア会議を月1回開催

しています。

【府中】新病院の設計に、医療（地域医療連携室、訪問看護ステーション）と介護（市の包括支援センター）の連携を推進するため、医療・介護・福祉・生活支援のいずれの相談にも対応できる総合的相談窓口を、住民が利用しやすい1階に設けました。

#### 4 医師及び医療従事者の確保

##### (1) 臨床研修体制の充実

【府中】府中地域で病院を運営する府中市病院機構と社会医療法人陽正会が共同して、岡山医師研修支援機構が開催した「岡山マッチングプラザ2013」に「地域医療病院コンソーシアム府中」として出展しました。

今年度は、寺岡記念病院に来た学生（岡大）の研修プログラムに、府中市民病院が半日盛り込まれました。

【府中北】府中北市民病院は、広島大学病院の協力型臨床研修病院として、研修医・学生の受け入れを行いました。

（実績 研修医2名・学生3名）

##### (2) 看護系大学などとの連携

【府中】府中地区医師会准看護学院の准看護師養成のための実習施設となっており、実習生の受け入れや学院への講師派遣をしています。

また、訪問看護ステーションあゆみでは、福山平成大学、広島県立大学、広島県厚生連尾道看護専門学校、府中地区医師会准看護学院の実習生を受け入れています。

#### 5 地域住民とともに守る病院づくり

##### (1) 患者の利便性と院内環境の快適性の向上

【府中】新病院の設計に、健康で長生きするための栄養学的情報の発信を目的とした、だれでも利用できるレストランを設けました。

【府中北】外来掲示板に、インフルエンザ予防など、その時期に合った情報提供を行いました。

【府中】毎月、院長による各病棟回診、院内巡視を行いました。総看護師長、事務長が同行し、患者要望や院内環境を把握しています。

【府中北】各階にご意見箱を設置し、サービス向上委員会で内容を協議し、改善を図りました。

##### (2) 医療安全対策の徹底

【府中・府中北】毎月、院内感染対策委員会を開催し、感染症情報を院内全体で共有、また定期的に研修会を開催しました。

【府中・府中北】毎月、医療安全対策委員会を開催し、院内全体でインシデント・アクシデント報告の内容と、その対応策及び再発防止策を確認しました。また、医療安全情報、医薬品情報、医療機器等の医療安全情報を共有、定期的に研修会を開催しました。

### (3) 市民への積極的な情報提供

【法人】市の健康&福祉まつりに参加し、2病院の看護師による健康相談を実施しました。

【府中】看護の日のイベントとして、病院内と市内のスーパー前で、健康相談を実施しました。また、病院の地元、鶯飼町内会の夏祭りへの出店や、敬老会への参加、地域住民対象の講演会へ職員を講師として派遣しました。

【府中北】上下ひなまつりに病院として出店し、血圧測定や健康相談、ゲームなどで地域との交流を図りました。

【法人】市の広報に、それぞれ年4回、2病院の紹介記事を掲載しました。  
病院広報誌の発刊数【法人】1回

## 第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

### 1 組織・機構の整備

【法人】理事会を毎月定例で開催し、収益の目標達成状況を報告しました。

【府中】院長、副院長（2名）、総看護師長、事務長による経営戦略会議を、毎週定例で開催しています。

【法人】府中市民病院は、J A広島厚生連の出向職員から法人職員への移行期であり、2病院間での職員異動は、一部の部署のみになりました。

【府中・府中北】毎月の幹部会議で、経営状況の共有を図りました。

【府中】各部署の積極的な取組みを発表する「元気が出る KAIZEN 発表会」を開催しました。

### 2 職員教育体制の充実

【法人】全職員の学会、研修会、発表会等への参加を支援しました。

区分	府中市民病院	府中北市民病院
医師	23	10
看護師	106	38

医療技術員	83	9
事務職員	28	34
合計（延人数）	240	91

【府中】看護部に、教育担当師長を専任で配置し、院内での研修・発表会を企画しています。

広島県の「チームケア推進モデル事業」を実施し、多職種連携推進研修会でその取り組みを発表しました。

### 3 事務職員の育成

【法人】事務職員については、法人採用の職員へ移行中ですが、現在、市からの派遣職員は、各業務の中心的な事務を担っているため、今後は特に計画的な採用・育成が必要になります。

※事務職員の内訳（総務・人事・医事）の内訳

職員区分		H25.4	H26.4
府中市民病院	法人	6人	6人
	府中市	3人	3人
府中北市民病院	法人	1人	1人
	府中市	4人	3人

### 4 働きやすい職場環境の整備

【法人】法人スタート時の人事給与制度に変更はありません。

【府中】本館2階の空きスペースを改修し、院内託児所の施設整備を行いました。運営については府中市と協議し、平成26年度中の開所を予定しています。

## 第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

### 1 経営基盤の強化

【法人】法人の経営成績は、2病院の合計で106,838千円の赤字決算となり、経常収支比率は97.1%でした。

収益目標は達成しましたが、市からの繰入金の前年度比較で50,000千円減の440,000千円（当初：380,000千円、追加：60,000千円）であったことと、病院機能を維持するための経費がかさんだことで、黒字決算の目標は達成できませんでした。

※経営成績（繰入金を除く）

	前年度	25年度
府中市民病院	▲154,572千円	▲237,781千円
府中北市民病院	▲291,939千円	▲309,000千円
法人全体	▲446,511千円	▲546,781千円

指標

項目	府中市病院機構		
	目標値	実績値	増減
経常収支比率（経常収益／経常費用）（％）	100.6	97.1	▲3.5
医業収益比率（医業収益／医業費用）（％）	89.0	84.6	▲4.4
給与費比率（給与費／医業収益）（％）	69.7	73.1	3.4
医業収益（百万円）	2,949	3,043	94
入院収益（百万円）	1,580	1,655	75
外来収益（百万円）	1,119	1,148	29

※経常収支比率は、府中市からの繰入金を算入後の数値です。

2 収益の確保及び費用の節減

【府中】 医事課では、査定を減らす取り組み、外来未収を減らす取り組みを強化しました。今年度、病院内で開催された「元気が出る KAIZEN 発表会」で、この医事課の取り組みは最優秀賞を受賞しました。

【府中】 総務課は、委託契約の見直しにより、年間約 300 万円のコスト節減を図りました。

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

1 病院の建て替えへの対応

【法人】 市が発注した新病院の設計業務に、市と病院が共同して着手し、今年度は基本設計を完了し、H26年度から工事に着手します。

【法人】 新病院の機能として、地域包括ケアの推進体制について市と協議し、その具体案を設計に盛り込みました。

【法人】 新病院への医療機器等の投資については、現在の機器等の耐用年数等を考慮し、継続使用・更新・新規導入を検討しています。今後も投資経費を積算した上で、将来的な財政推計を行い、法人経営の支障とならないよう留意します。また、地域における医療資源と重複投資にならないように努めます。

## 2 医療機器などの更新

【法人】医療機器の更新や施設の改修については、各病院の医療機器整備委員会等で優先順位を検討し、法人理事会で購入機器を最終決定しました。決定にあたっては、法人の中期計画に基づき総合的な判断を行いました。

本年度の投資的経費は、78,954千円で、目標限度額128,000千円の範囲内としました。

内訳	投資額
府中市民病院	20,290千円
主な購入機器	全自動血液凝固測定装置（検査科） 全自動糖分析装置（検査科） 終夜睡眠時ポリグラフィ検査機器（検査科） 血管アクセス用超音波診断装置（内科） サージレックスエンシールシステム（外科） 産婦人科検診台（産婦人科） 超音波画像診断装置（産婦人科） 薬用冷蔵ショーケース（薬局）
府中北市民病院	58,664千円
主な購入機器	人工透析装置一式（透析室） 鼻咽頭ビデオスコープ（耳鼻咽喉科）

## 第5 予算、収支計画及び資金計画（平成25年度）

※ 財務諸表及び決算報告書を参照

### 1 予算

（単位：百万円）

区分	予算額	決算額	差額
収入			
営業収益	3,318	3,478	160
医業収益	2,949	3,049	100
運営費負担金	250	290	40
運営費交付金	108	128	20
その他医業収益	11	11	—

営業外収益	36	37	1
運営費交付金	22	22	—
その他医業外収益	14	15	1
資本収入	68	80	12
長期借入金	68	76	8
その他資本収入	—	4	4
計	3,422	3,595	173
支出			
営業費用	3,150	3,436	286
医業費用	3,144	3,430	286
給与費	2,056	2,225	169
材料費	508	542	34
経費	571	654	83
研究研修費	9	9	—
一般管理費	6	6	—
営業外費用	35	35	—
資本支出	199	220	21
建設改良費	67	88	21
長期借入金返還金	132	132	—
計	3,384	3,699	305

## 2 収支計画

(単位：百万円)

区分	計画額	決算額	差額
収益の部	3,387	3,536	149
営業収益	3,351	3,499	148
医業収益	2,949	3,049	100
運営費負担金収益	250	290	40
運営費交付金収益	108	128	20
その他医業収益	11	11	—
資産見返物品受贈額戻入	33	21	▲12
営業外収益	36	37	1
運営費交付金収益	22	22	—
その他医業外収益	14	15	1
支出の部	3,368	3,642	274

営業費用	3,333	3,607	274
医業費用	3,327	3,601	274
給与費	2,056	2,225	169
材料費	508	542	34
経費	571	654	83
研究研修費	9	9	—
減価償却費	172	170	▲2
資産減耗費	11	1	▲10
一般管理費	6	6	—
営業外費用	35	35	—
臨時損失	—	—	—
純利益	19	▲106	▲125
目的積立金取崩額	—	—	—
総利益	19	▲106	▲125

### 3 資金計画

(単位：百万円)

区分	計画額	決算額	差額
資金収入	3,687	3,858	171
業務活動による収入	3,354	3,515	161
診療業務による収入	2,949	3,049	100
運営費負担金、交付金による収入	380	440	110
その他業務活動による収入	25	26	1
投資活動による収入	—	14	14
その他投資活動による収入	—	14	14
財務活動による収入	68	76	8
長期借入による収入	68	76	8
その他財務活動による収入	—	—	—
前年度からの繰越金	265	253	▲12
資金支出	3,676	3,858	182
業務活動による支出	3,124	3,450	326
給与費支出	2,001	2,222	221
材料費支出	508	542	34
その他業務活動による支出	615	686	71
投資活動による支出	68	88	20



有形固定資産の取得による支出	68	88	20
その他投資活動による支出	—	—	—
財務活動による支出	132	132	—
長期借入金の返済による支出	—	—	—
移行前地方債償還債務の償還による支出	132	132	—
次期中期目標の期間への繰越金	352	188	▲164

#### 第6 短期借入金の限度額

該当なし

#### 第7 剰余金の使途

平成25年度決算では、剰余金は発生しませんでした。